

# ドイツ・ラインラント＝プファルツ州の マル・ドライヤー首相が来校

## 外国語学部ドイツ語学科学生らと交流



首相が笑顔で答える質問

10月23日、ドイツの研究教育の両面で活発な交流を行ってきた。本学州からマル・ドライヤー首相をはじめ、政治、産業界、メディアなど各界の代表者26人が本学を訪れた。同州には本学の協定校が2校(ルートヴィヒスハーフェン経済大学とトリア大学あり、ドイツの移民・エネルギー政策、介護問題、災害対策などについて議論を交わした。続いてドイツ語学科学の学生11人が、日本の女子学生との現状や就職活動の経緯とドイツに共通する社会課題などにも話は及び、和やかに閉会した。

最後に、睥道佳明学長、永井敦子学生総務担当副学長、河崎健教授(外国語学部ドイツ語学)、スヴェン・サラ教授(国際教養学部)を交えての懇談が行われた。睥道学長は「両大州、国との関係、全てを進展させていきたい」と述べ、少子高齢化や移民の問題など、日本とドイツに共通する社会課題などに話が及び、和やかに閉会した。

11月6日から23日、上智大学研究機構がソフィア・オープン・リサーチ・ウィークス(SORW)2023を開催した(後援:千代田区)。

本学では、世界各地の地域研究から宗教、人権、生命倫理、言語学、メディア、環境、新技術開発まで、幅広い分野の研究が日々行われている。本企画はこれら研究成果の発信の場として催され、今年で10回目を迎えた。期間中は講演会、

展示企画、映画上映会、シンポジウムなど、全体で26の企画を実施。学内外から2000人を超える参加者が集まった。

11月7日に開催されたシンポジウム、「共生社会創成の現実:インドの取り組みから考える障がい者の支援と自立」(主催:上智大学アジア文化

研究所)では、インドで障がい者の自立を支えるDifferent Art Centreのゴピナート・ムトゥカド所長らによる講演や、障がいを抱えながらもマジシャンとして活躍するウイシュヌ氏のマジックパフォーマンスなどが行われた。そしてサリア・アガステン理事長と日本の



シンポジウム「共生社会創成の現実」講演会「わたしを守る」と「あなたを守る」

「わたしを守る」は、障がい者や社会福祉の専門家を加えたトークセッションでは、「人々が会の理解や支援はもっと進むはず」

「あなたを守る」は、Art Centreの活動はインドを愛える」とい

11月22日には、みたら氏に加奈氏(NPO法人ひまわり)が、被害者性被害については被害者

12月8日まで性暴力被害者として行われた、「そのとき、あなたは、何を着ていた?」(What Were You Wearing?)展のプレ企画という位置づけであった。みたら氏は性暴力に関するハンドブックを配布し、さまざま

12月8日まで性暴力被害者として行われた、「そのとき、あなたは、何を着ていた?」(What Were You Wearing?)展のプレ企画という位置づけであった。みたら氏は性暴力に関するハンドブックを配布し、さまざま

# JICAと協働して現地の専門家庭教育に貢献

## ホンジュラス国立自治大学修士課程強化プロジェクト

10月3日、4日、12日に、ホンジュラス国立自治大学(UNAH)からJICAがホンジュラスで手がける「社会経済開発人材育成のためのUNA修士課程強化プロジェクト」について、株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング(東京・麹町)とともに受託し、技術協力をを行っている。今回

協定を締結して以来、JICAの一環で実施された。2016年に包括連携協定を締結して以来、JICAとほさまざまな交流を行っているが、海外でのプロジェクトで協働するのは今回が初の試みとなる。

ホンジュラスは多くの国々や国際機関から多額の開発援助を受けて事業を実施しているものの、開発事業に通じプロジェクトをリードできる専門人材が不足している。このプロジェクトで

本学は、独立行政法人国際協力機構(JICA)の来校も同プロジェクトの一環で実施された。2016年に包括連携協定を締結して以来、JICAとほさまざまな交流を行っているが、海外でのプロジェクトで協働するのは今回が初の試みとなる。

UNAの修士課程の一つである「国際協力と開発プロジェクト運営管理」プログラムのカリキュラムを再構成し、同国の社会経済開発事業の効果的な実施に資するプロジェクトを育成に寄与することが目的だ。本学からは植木安弘教授(グローバル・スタディーズ研究科国際協力学専攻)、幡谷則子教授(外国語学部イスパニア語学科)、佐崎淳子特任教授の3人が協力している。

本学でのセッションでは、植木教授を交え、本学の国際協力学専攻をモデルに、カリキュラムの改善点の洗い出し、修士論文指導法、教員や科目配置の工夫などについて



伊呂原隆副学長(前列右)を囲んで

「産前のパパ向け育児講座」

11月18日、1号館で「産前のパパ向け育児講座」を開催された。助産師の資格を持つ総合人間科学部看護学科の光武智美助教と同学科の近藤千恵助手が講師を務めた。

講座は、令和5年度千代田区事業「千代田学」

# シンポジウム「共生社会創成の現実」

## 多彩な研究成果の「今」を発信

シンポジウム「共生社会創成の現実」講演会「わたしを守る」と「あなたを守る」

「わたしを守る」は、障がい者や社会福祉の専門家を加えたトークセッションでは、「人々が会の理解や支援はもっと進むはず」

「あなたを守る」は、Art Centreの活動はインドを愛える」とい

11月22日には、みたら氏に加奈氏(NPO法人ひまわり)が、被害者性被害については被害者

12月8日まで性暴力被害者として行われた、

# 産前のパパ向け育児講座

## 看護学科の教員らがアドバイス



参加者が抱っこする新生児の人形

千代田区事業「千代田学」

11月18日、1号館で「産前のパパ向け育児講座」を開催された。助産師の資格を持つ総合人間科学部看護学科の光武智美助教と同学科の近藤千恵助手が講師を務めた。

講座は、令和5年度千代田区事業「千代田学」

「産前のパパ向け育児講座」

11月18日、1号館で「産前のパパ向け育児講座」を開催された。助産師の資格を持つ総合人間科学部看護学科の光武智美助教と同学科の近藤千恵助手が講師を務めた。

講座は、令和5年度千代田区事業「千代田学」

新刊紹介

SUP

上智大学出版

「看護英語入門」

ケ

部良典/峰松愛子/塚本尚子【編】

(1600円+税)

「看護英語入門」

ケ

部良典/峰松愛子/塚本尚子【編】

(1600円+税)

「文学を称賛して」

八木啓代【編訳】

(2000円+税)

「ホセ・グアダル」

ペ・ポサダの時代—十九世紀メキシコ大衆印刷物と版元パネナス—

アロヨ